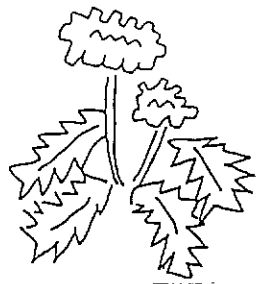


たんぼぼ

NO 163
H13年1月1日
—発行—
7869-1217
熊本県菊池郡
大津町森54-2
社会福祉法人
三気の会
三気の里
☎096-293-8100



療育雑誌

たんぼぼのように

佐藤 香織

この機関誌「たんぼぼ」の題名が何故「たんぼぼ」というのか御存じですか。たんぼぼは生命力が強く、どんなに切られても芽を出します。種は風の方であちこちに飛んでいきます。この機関誌が、たんぼぼのようにいろんな所へ飛んでいき、少しでも多くの方に読んでもらいたい。そんな意味が込められています。

最近、新人職員の方にどんな本を読めば良いですかと尋ねられます。故田中施設長は、三気の里で働く職員に対し、必ず3つの約束を言われました。その中の2つ目に「本を読んで勉強すること」があります。私は就職して6年目になります。私の間様々な自閉症に関しての本を集めています。も

ちろん、集めてコレクションにしている訳ではありません。本を買うと一応目を通します。どれも新たな発見があり、感動し、頑張ろうという気を起こさせてくれます。しかし、決して熟読は出来ていません。2回3回と読むものはまだ自分の中にはありません。そんな私でもめずらしく熟読している本があります。それは「たんぼぼ年間誌」です。

就職前の研修中に、「読んで下さい。」と言われ、8冊の冊子をいただきました。その後就職して毎年一冊ずつ増え、最近また新たに1999年度版をいただき、今では13冊の冊子が本棚に並んでいます。その時の気分次第で読み返します。利用者の過去の様子が知りたい時には班ニュースを読みます。今気になる利用者が、昔どの班に所属し、どんな作業を行い、外出訓練はどこへ行きどんな様子

だったのか、その当時が目に浮かぶように見えてきます。くじけそうな時は保護者の方が書かれた欄を読みます。過去を振り返り書かれています。現状を書かれています。ものと様々ですが、どれも保護者のお子さんへの強い「想い」が書かれており、主人公の利用者のことを想像しながら笑ったり涙したりしていつも元気をもらっています。悩み苦しい時は療育雑誌を読みます。多くの三気の里の利用者を対象にした療育法・技法・考え方・実践が書かれてあります。

開所時から入所されている利用者、新に入所された利用者に関係なく誰にでも当てはまる療育のヒントが必ず見つかります。そして、将来を考えた時、施設長が書かれている巻頭言を読みます。社会、施設、障害、そして人としての在り方を療育とは違った視点で書いてあります。時には厳しい現状をも

包み隠さず書いてあります。読む度に指導員として、人として、社会人としての在り方について深く考え、反省させられます。

三気の里のスーパーバイザーをしていただいている片倉信夫先生が、ケースカンファレンスの際に必ず、利用者との家庭訪問をしてその人のアルバムを見せてもらいなさい、と言われます。それは、利用者の現在の不適応行動等の問題は生後すぐからあるのではない、その人にも良い時期は必ずあったはず、現状の問題だけに囚われず、その人の過去や歴史をひっくり返して考えていかなければ何も問題は解決できない、という意図からです。利用者を三気の里に置き換えてみると、三気の里のアルバムや歴史はたんぼぼ冊子だろうと思えます。しかも、ただのアルバムではなく、立派な指導書になっています。指導者の在り方、考え方について自分振り返る機会を与えてくれ、利用者のことはもちろん、保護者の想い、療育に関して、人としての在り方、また、施設の在り方までを記した本はどこにもありません。指導援助にマニュアルはないといいますが、たんぼぼ

は三気の里にとってのマニユアル本となっているのではないでしょう。皆さんもたんぼ年間誌をじっくり読み、三気の里の歴史を振り返ってみてはいかがですか。

先日、全国自閉症者施設協議会大分大会に参加させていただきました。「自閉症者の就労援助について」というテーマの実践報告を聞くことができました。他の施設の中には、園外作業もしくは就労として実際に就労支援を行っているという報告を目の当たりにし、自分の視野の狭さを痛感しました。①障害の軽重度に限らず、探せばその利用者ができる仕事があるはず。②利用者の可能性を生かすも殺すも援助者次第。③（仕事を）見つけるといふ意味で、指導者は営業マンでなければいけない。という3つの言葉が大変印象的で、今でも頭の中から離れません。この言葉を解釈すると、三気の里の利用者は何らかの支援があれば就労が可能であると言えます。私は、施設での生活場面・作業場面での療育・訓練がクリアできないと地域社会で就労することはできないものと考えていました。しかし、

社会へ出てはじめてその利用者にとって、何を指導すべきなのかが見えてくる。そして、本当の意味での社会人（大人）としての在り方を指導できるのだということでした。発想の転換が必要です。

就労支援では、利用者の個々のニーズに合ったサービス・システムを提供しなければなりません。その為、サービスを提供する側の私達には多様な専門性が要求されます。それにはまず勉強し、学ぼうとする気持ちが必要です。同時に私達指導者は、園外作業・就労を目標に日々方向性を持った指導を行い、地域社会へアプローチするといった強い意志と行動力を身につけなければなりません。三気の里の歴史を振り返り、現状を見直して見ると、以前に比べて生活自体が落ち着いてきているように感じています。そこそこには生活していけるようになっていきます。しかし、そこで満足することなく、日々利用者の成長には欲張りでありたいものです。開所から14年。たんぼは生命力強く、確実に三気の里に根をおろしつつあります。21世紀へ向けて、私達指

導者が就労支援という新しい風を吹かせ、利用者というたんぼぼを地域社会へたくさん飛ばしましう。飛んで行った場所で確実に根付き、新しい花を咲かせられるように。

後援会募集のご案内

三気の里では、後援会を募集しています。御入会頂いた方には、毎月発行している機関紙「たんぼ」をお送り致します。振振り込み先 口座番号 0197018114902



社会福祉法人 三気の会后援会 保護者会代表 魚谷 秀文 宛 住所 熊本県菊池郡大津町森5412 一口 3千円

団体は、一万円より



後援会ありがとう

- 樋口 秀樹・堤耕一郎
- 久光正太郎・笠 盛中
- 脇島 義郎・福岡 壮一
- 佐藤 静子・副島 珠希
- 澤田 秀敏・岡本 好史
- 本田 久士・亀山 勝彦
- 芳川 和洋・三村 元子
- 小田久美子
- 保田 周一



- 田中 孝明（菊陽台病院）
- 白浜 哲也（白浜米穀店）



事務便り 漸く三気の里の木々も冬支度に入ってきました。暖冬の影響ででしょうか。影響を受けないのが師走で、忙しそうに働く利用者と職員の中で、納豆のわらづと作りに励み納期に間に合わせようと頑張っている、るり子さんを見習わなければと、ため息交じりの私でした。

田之上

十二月に入ると厨房は大忙しです。

餅つき大会・クリスマス会・大掃除と次から次に仕事が出て来て大変です。

たぶんみなさんの家庭でも同じだと思います。お互い頑張りましょう。

先日、みなさんの協力のお陰で無事餅つき大会も終わり、次はクリスマス会です。

今、食堂には大きなクリスマスツリーも用意されて準備は着々と進んでいます。

今年のメニューは何か？それは秘密です。あ！今月の献立表に答えを書いてしまった。

上村

餅つき大会

榎本 英也

去る12月9日(土)に快晴の中、三気の里運動場にて餅つき大会が行われました。

昨年とは餅を食べることがメインになりがちで利用者が保護者、ボランティアの方々と接する機会が少なかったのですが、今年には柳河精機様、森消防団様、三気の家が新たに参加されたおかげで参加者全員が分け隔てなく、餅をついたり、食べたりすることができ、楽しい会になりました。

また餅をつく↓こねる↓ちぎる↓丸める↓食べるといった一連の流れを利用者全員(職員も)が体験し、食べる喜びプラス作る喜びを感じたのは収穫でした。

来年も今年以上に楽しい餅つき大会になるようにと願っています。

最後にご協力頂いた柳河精機様、森消防団様、ボランティアの方々感謝申しあげます。

保護者の皆様協力有り難うございました。

八木 良江

健康診断

12月8日(土)1:30より、トレーニングルームにて今年度2度目の健康診断が行われました。

今回は血液検査が行われたのですが、血圧を測るテーブルの横で、血液検査があるものだから、なかには血液検査を見ながら、血圧がいつもより以上に高い人も出てきていました。

今回視力検査ができそうなのは挑戦してみたのですが、初めのことだったので分かるけど、上手く空いているほうが伝えられないという感じてした。

血液検査が上手に出来るようになったので視力検査は今後挑戦して行きたい課題です。

またもう1つの課題としてほとんどの利用者の方が、太りぎみのようです。

運動量が少ないというのが最大の原因だということとは分かっているのですが、これも今後の大きな課題です。

第五回九州地区知的障害者更生施設等職員研修 佐賀大会

岩下 由紀

十二月九日・十日の二日間、佐賀県杵江市において、九州地区の通所更生施設(入所更生施設通所部)の職員研修が行われました。

現在、ハンディを持った方々への地域生活支援や在宅支援の要望が高まり、社会福祉基礎構造改革が進められています。

通所更生施設の在り方、専門職としての職員の資質も問われている中、「これからの施設および施設職員の役割」という大会テーマで講演、四つの施設の実践の成果や課題の協議がなされました。

九日、東やまたレジデンスの藤村出氏が「自立とは必要な援助を受けて生活することであり、彼

(彼女)らが出来るやり方でしていく。大人になった人を指導・訓練するよりも地域社会を受け入れ体制にしていくことの方が大切である。

施設は地域での生活を支える機能や地域生活への移行を目的に役割を發揮すべきである。」と講演されました。

心と頭を柔軟にして、今までの考え方・やり方を変えていく必要があると思えました。

十日、研修終了後に朝日山学園の施設見学をさせて頂きました。

施設内はTEACHプログラムを取り入れられており、写真や絵文字で分かりやすくカード提示してあります。

地域に根ざした施設であること、保護者・職員が力を合わせて目標にむかって頑張っておられることが、話しの中から見学する中から伝わってきました。

この二日間考えた事を参考に今後、広い視野で考え、取り組んでいこうと改めて思った研修でした。

上村

餅つき大会

榎本 英也

去る12月9日(土)に快晴の中、三気の里運動場にて餅つき大会が行われました。

昨年とは餅を食べることがメインになりがちで利用者が保護者、ボランティアの方々と接する機会が少なかったのですが、今年には柳河精機様、森消防団様、三気の家が新たに参加されたおかげで参加者全員が分け隔てなく、餅をついたり、食べたりすることができ、楽しい会になりました。

また餅をつく↓こねる↓ちぎる↓丸める↓食べるといった一連の流れを利用者全員(職員も)が体験し、食べる喜びプラス作る喜びを感じたのは収穫でした。

来年も今年以上に楽しい餅つき大会になるようにと願っています。

最後にご協力頂いた柳河精機様、森消防団様、ボランティアの方々感謝申しあげます。

保護者の皆様協力有り難うございました。

八木 良江

健康診断

12月8日(土)1:30より、トレーニングルームにて今年度2度目の健康診断が行われました。

今回は血液検査が行われたのですが、血圧を測るテーブルの横で、血液検査があるものだから、なかには血液検査を見ながら、血圧がいつもより以上に高い人も出てきていました。

今回視力検査ができそうなのは挑戦してみたのですが、初めのことだったので分かるけど、上手く空いているほうが伝えられないという感じてした。

血液検査が上手に出来るようになったので視力検査は今後挑戦して行きたい課題です。

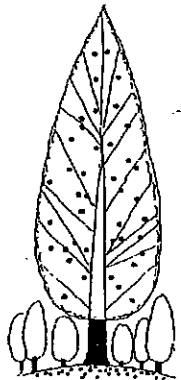
またもう1つの課題としてほとんどの利用者の方が、太りぎみのようです。

運動量が少ないというのが最大の原因だということとは分かっているのですが、これも今後の大きな課題です。

第五回九州地区知的障害者更生施設等職員研修 佐賀大会

岩下 由紀

十二月九日・十日の二日間、佐賀県杵江市において、九州地区の通所更生施設(入所更生施設通所部)の職員研修が行われました。





ニュース



3班・20世紀最後の…

今世紀もあと残りわずか…。そんな声があちらこちらから、聞こえてくるようになりましたね。今年も木工班の皆は、頑張って作業に取り組みました。その労をねぎらい、又一月からの活力を付けるためにも、今回のレクリエーションは「焼き肉！」となりました。出掛ける前から「今日は焼き肉ですよ～」という嬉しそうな声が聞こえてきます。お店に着くと皆の期待通りのおいしそうなお肉たちが待っており、思わず「うわ～！」と言う声が…。食事を始めて20分程はシーンとして、だれ一人おしゃべりする事なく黙々と食べ、職員は焼くのに徹していました。お肉ばかり食べている人、とても辛そうなスープを残す事なく全部飲んじゃった人、自分が食べたいものを次から次へとオーダーしている人…などなど。そして、忘れられないのが、食後のソフトクリームに目をキラキラと輝かせて見つめている笑顔でした。

皆「おいしい！！」という笑顔で、今世紀最後の焼き肉となりました。

岩本

2班・20世紀さようなら！

20世紀最後の師走、寒さと忙しさの毎日をお過ごしではないでしょうか。2班も今、今年最後のネット納品に向け、慌ただしくネット作業に取り組んでいます（納品できるか不安です～）。

新2班でスタートしてはや8カ月、時間が過ぎるのは本当に早いですね。いつもと変わりなく作業をしている今ですが、ふと考えると4月に比べると別人のように見えるみんなであります。ネットの取り組む量が増えたり、上手にネット組みができるようになったり、現在普通に取り組んでいることが以前はできていなかったと考えると、みんなの成長が目に見えて分かります。作業だけではありません。週に1回は取り組んできた散歩でも見違えるように変わってきています。ゆっくりゆっくり最後を歩いていた人が、今では先頭グループに加わり歩いています。みんなが少しずつ変化していきながら自分だけが4月の時と変わらずここにいるような気がします。21世紀ももうまじか、2班のみんなのさらなる成長が楽しみです。20世紀に2班のみんなお疲れさま、そして21世紀の2班のみんなこれからも頑張りましょうね！

江藤

1班・ちょっと変わった忘年会

2000年も残すところ僅かとなり、気付いたらもう忘年会シーズンなんですね。勿論1班も行いました。それはちょっと変わった忘年会です。アウトドア派が集まった1班は去る12月7日、旭志村四季の里キャンプ場に行きました。バンガローを借りたのですがあまりの天気よきに外で中華オードブルを囲み「乾杯」みんなの労を犒い「さあどどん食べて」と言いたいけど何から食べていいのか迷ってしまいます。エビチリを沢山食べた龍ちゃん、渡りガニの唐揚げにかぶりつく友ちゃん、コーラに喉をならす昌弘君、結局オードブル4皿は完食。食事の後はアスレチックに行き体を動かしました。その中でも1番張り切っていたのが女王麻衣ちゃん今回はトランポリンに挑戦、そして見せてくれましたオリンピック選手も驚くより高く華麗なジャンプこれは凄い！麻衣ちゃんのジャンプと共にいい年が越せそうです。「みんな1年間お疲れさま、ありがとう。」と心から言いたいと思います。

阿南

5班 - 武ちゃん退院おめでとう & 石丸邸家庭訪問

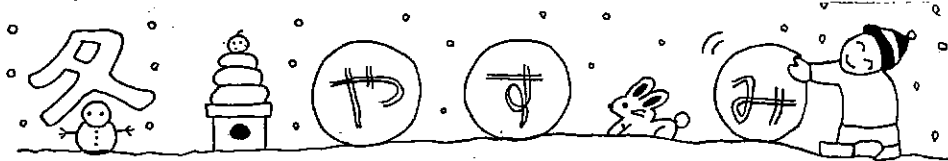
焼き肉、焼き肉食べ放題！食べ放題レイホー！っという歌をご存じですか？今回5班は、近見のビックバンバンという所で忘年会、退院おめでとう会を行いました。なぜ退院おめでとう？と思いのことでしょう。実は清田君が盲腸で入院していたのです。無事に手術も済み、元気よく三気の里に帰って来たのです。みんなのおかえりー！よく頑張ったね！と言う励ましの言葉に照れているようでした。みんなはと言うと、時間制限があり、一年を振り返る思い出話等する余裕がありません。みんなモクモクと時間一杯食べていました。食事の後はドライブ。さてさてどこへ車を走らせようか？石丸ドライバーの後をついて行くと、たどり着いた所は石丸ドライバーの実家でした。キョロキョロ。家中を探検したそうに敬ちゃんの目が光っています。と、そんな中一人で何やら笑っている人がいます。プフッフ。グフッフ！誰だろうと辺りを見回すとそこにはメガネをかけて笑っているしいーちゃんがいるではありませんか？まるでフィンガーファイブのボーカルみたいで、職員は大爆笑！！その大爆笑で我にかえったしいーちゃんは何食わぬ顔をしていました。5班のことを何も知らずにはいつてきた私もすっかり5班の仲間。これからもっと寒くなるけど、一緒に頑張っていこうね！ 東内

6班 - 次は何が回るか回転寿司

12月だというのに、昼間はポーッとような暖かさ。しかし夜は暖房をつけなければブルブル震えるような寒さ。こんなに寒暖の差が激しいとわたしたちの体もどうにかなりそうです。そうならないためにもじゃあ、美味しいものでも食べて、体も心もポカポカにしよう。それならついでに、忘年会をしようということで、近見町のぼんぼん寿司に出掛けました。カウンターの席とテーブルの席に別れたのですが、カウンターの方では、回ってくる寿司を見ながら自分の好きな物が流れてくると取っては食べ取っては食べ、あっと言う間に6皿ぐらい食べている人もいました。テーブルの方では食事制限のある人もいたので、職員が持って来た寿司を吟味して食べていました。一人10皿までだったので数えながらも、皆しっかりデザートまで食べてました。初めての回転寿司皆どのような反応かと思いましたが、それぞれが、目の前に来たものを楽しんで自分で選んで食べるというのできる、この様子を見てまた来たいなあと、にこにこしながら10皿も食べた私です。 八木

4班 - 農耕班の冬

今回の班ニュースは、農耕班の冬の過ごし方について紹介したいと思います。基本的には冬も農耕作業を中心に行っている訳ですが、冬場は比較的時間に余裕が出てくる為、その時間を使って教材の取り組みの回数を増やしたり、作業環境を整えるための工事計画や体力を落さないように散歩を行っています。その散歩ですが、大体いつも一人一人のペースが決まっていて、列が長くなってしまう為ペアを組んで歩いています。その組み合わせにも、それぞれの個性を見極めてのペア作りが必要になってきます。声だしのある人にうるさいのが嫌いな人はペアに出来ないし、手を繋ぐのが苦手な人に、無理に手を繋ごうとする人は組ませられないし…等などあります。(勿論その都度必要に応じて声だしを止めたり、手が無理なら指と指を繋いだりする練習はしていますが…)そういった工夫をさりげなく？しながら全体の列を崩さないように努力しています。散歩にもちゃんとした意図を持って取り組んでいます。さてこの“たんぼぼ”が皆さんのお手元に届くころにはもう21世紀、2001年の始まりです。農耕班はたとえIT革命が起ころうと21世紀も無農薬野菜作りにこだわり続けたいと思っています。どうぞ今世紀も農耕班の野菜をよろしくお願いします。 木下



一年を

振り返って

また一から出直します。 松田



ミレニアムだ、世紀末だ、21世紀だ、アルマゲドンだ、ノストラダムスの大予言だ、コンピュータ誤作動だ。何かと騒がしい年でした。

田之上



仲良し厨房5人組は今年も肩寄せ合い頑張った。来年も、かけがえのない心の友として愛を深め頑張ります。

矢野



一日一日を大切にと思って過ごした一年でしたが勉強不足な事ばかりで！来年はまず、本を読んで視野を広げ一歩でも前進できればと思っています。

黒澤



一年過ぎるのがだんだん早く感じます。気が付けば6年も経っていった…。来年は初心に戻って頑張るぞ。

上村



今年も、あっといふ間の一年でした。その中でも反省することはあります。しかし私にとって良い年でした。

秦



「初心忘るべからず」私はこの言葉を常に頭に入れていき日々勉強し一日一日を大切にしたい。

両角



園芸って難しい！と悪戦苦闘した一年でした。来年は花と一緒にゆっくり成長できたらいいなあー

東内



早いもので来年は、新世紀。厨房の長老としては、健康に気をつけながら、行く末を見守りたいです。

金丸



私の20世紀最後の一年は、きのう正月、今日夏休み、気付けば明日が正月という具合にたった3日で終わったような気がする…。

佐藤



十二年は特に光陰矢の如く通り過ぎました。休日は農業に従事すると共に組内の事で走りかい廻りよく働き、汗を流しビールもよく飲んだ年でした。少し反省！砂野



「洗濯？得意よー」と、軽く受けたにしては数多くの失敗と自己嫌悪。園生達の笑顔に助けられた9カ月でした。

森岡



お肌の曲がり角ならぬ体力の曲がり角を実感した一年でした。来年はすてきな一年になる予定です。ファイト！

恵良



スケートで、怒りながら滑っていたみんなが最後は笑顔になっていた。来年はみんなが楽しめることをもっと見つけてあげたい。

植本



20世紀を生き抜いた自分にご苦
勞さん。21世紀に向かい合う自分
に拍手。今世紀も、のん気・こん
気・げん気”で頑張ろうー 木下



あっという間だった2000年。
嬉し・楽し・反省の毎日でした。
2001年は前進あるのみで頑張
ります。 江藤



今年こそは何かい事起こる予
感…。と思いつつ、あっという間
に過ぎてしまった一年。来年に期
待します。 前田



日々反省、日々勉強だと、感じ
る一年間でした。自分に妥協して
いた様に思います。自分に負けな
い、気持ちで頑張りたいです。



上野

全てのことには戸惑う一年でした。
多くの方々に支えて頂いたお陰で、
今の私があることを改めて感謝し
ています。 出牛



2千年だと、大騒ぎされた年
だったが、風邪一つ、病一つせず、
無事故無違反の一年だった。丈夫
な身体に感謝しやう。 坂本



私が仕事に慣れるまで仕事は、
待ってくれません。とにかく仕事
に追っかけられた一年でした。
来年も頑張ります。 橋口



4月から6班の皆が仕分けに加
わり、大変にぎやかな1年でした。
これからも、皆のパワーをもらっ
て元気に頑張ります。 中牟田



「二度と後ろは振り向かないー」
そう自分に言い聞かせた一年でし
た。世紀末よ、さようなら大石



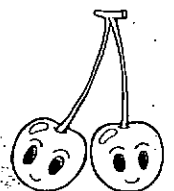
今年は大きな出来事がいくつも
あった年でした。嬉しい事、悲し
い事…喜怒哀楽の激しい年でした。
全てを糧とし、頑張るぞー！石井



来年は人生を思いっきり楽しんで
お腹を抱えて笑えるような1年
にしたい。皆の幸せ祈ります。 八木

八木

よく泣き、よく笑い、充実した
一年でした。来年はいよいよ二十
一世紀ノ楽しく、元気に過ごせる
ように努力します。 石田



3年目にしてようやく、仕事が
分かりかけ、そのおもしろさへと
言ったら失礼になるかもしれない
が、に気付き始めた。…かも。 岩本



今年8月より担当をもった事
で、いろんなことをするのに、初
めてのことばかりで、少し戸惑い
の一年でした。 大橋



大橋

一年を

振り返って

二千年、施設で働く意味を考え始めました。福祉、障害、ノーマライゼーション、うーん何かすっきりしない。考えてみましょうがない、来年は邪念を捨てよう。田邊



今年私の人生において大きく変化した一年となりました。来年もやる気と根性で頑張ります。

山口

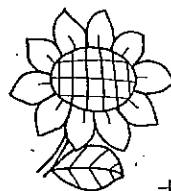


ミレニアムに相応しい出来事ばかりだった。色々あったが、何となく結婚！未来は明るいゾ。今年お世話になった方々、本当にありがとうございました。高田



全国大会での発表。片倉先生、ご家族、職員皆さんの協力で無事終了。感謝感謝です。兼業主婦になりました。

二四時間、三六五日の八割が仕事だった。その中でよく笑い、大喜びし、考え、充実してたかな？課題も多い。



大賀

忙しく過ぎていく中で、色々な事に興味を持ってた年でした。来年はこれらを充実させて、一日一日を大事にしたいです。



石丸

『よしっ。今年頑張った。』と言える年に来年こそは……って3年連続言っているような……。広瀬



西山



今年一年でいろいろな経験ができました。またいろんな事を教えてもらい、心に残る一年でした。フォーエバー！

笠松



見て・聞いて学ぶ事の多かった一年でした。あとは実践のみ……。

井手



今年一年、沢山笑いました。沢山の感動をもらいました。来年もいい年になりますように。

平山



早い、とにかく早い2000年でした。足りない事やり残した事が多すぎた。来年は1つずつ穴埋めしたい。

阿南



今年長男が社会人へと、又長女の就職も内定しほんと一息の私です。皆様お世話になりました。

西田



今年昨年以上に、いろんな事を考えさせられた一年でした。来年も、この一年間の思いを忘れず頑張ります。

宮原



通所者も増え賑やかになり、又考えさせられる事も多く忘れられない一年になりました。私事では結婚して、とても楽しい日々でした。

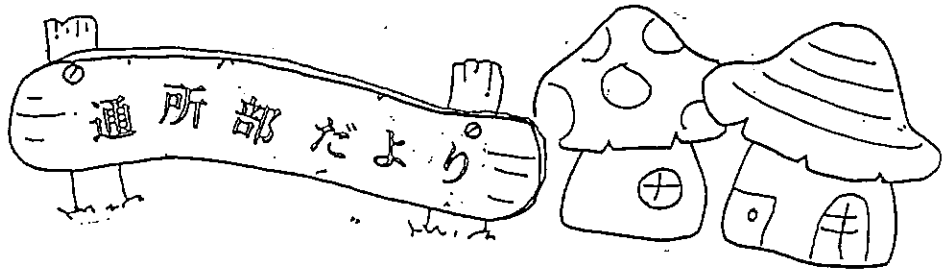
岩下



今年、私にとって転職という転機の年でした。今までの事を見つめ直す良い機会でもありました。

菊池





1月の行事予定

月	火	水	木	金	土	日
1	2 ① 冬休み	3	4	5	6 ① 休み	7 ① 休み
8 ① 休み	9	10	11	12	13 ① 休み	14 ① 休み
15	16	17 ① レク	18	19	20 ① 読者絵	21 ① 休み
22 ① 振り替え休み	23	24	25	26	27 ① 休み	28 ① 休み
29	30	31	① 1日~3日、6日~8日、13日、14日、21日、22日、27日、28日 休み ① 17日(水)レク ① 20日(土)読者絵			



通所部通信

すっかりストロップの似合う季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

今年最後のレクリエーションは、小川町のダイヤモンドシティへ買い物に行ってきた。初参加の美智子さんは「前に熱を出して行きそびれた所」と嬉しそうです。じっくり店内を見て回り、キンキキッズのメモ帳と週刊誌を買ってました。私が「こっちの週刊誌は？」と聞くと、「いいえ、こっちの郷ひろみが載ってる方にします。」と答えていました。どうやらジャニーズのファンようです。

享ちゃんは、格闘技の本とスマップのカレンダーを「これ買う」と言わんばかりに握りしめていました。

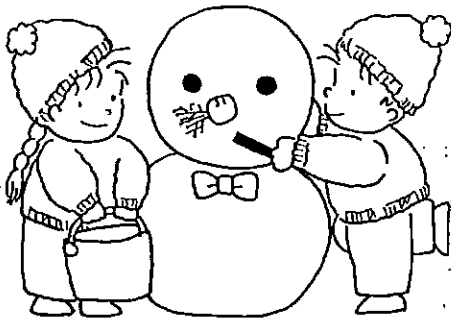
貴くんは広い店内をひっくり返るくらい体を反らして見上げていました。いつも見ている様な本を勧めますが、今ひとつ気にいらぬ様子。でもあるコーナーの中の一冊を手に取り真剣に見ていますが、残念ながら予算オーバー

(理由は他にもありますが...) でした。でもお昼は大好きなパゲッティーが食べれて大満足の様でした。次は欲しい物が見つかるといいね。

宜くんは初めて「自分で選ぶ」体験し食事は想像と実際は違ってた様でした。これから色々な経験をこの通所部のメンバーと一緒にして、楽しみをいっぱい見つけて行こうね！
* 西山

新通所者紹介

長年の夢が叶い、お父さんと二人暮らしを始めた美智子さん。毎日が楽しいそうです。三気の里でもわらびと作りに励んでいます。皆さんよろしくお願ひします。



21世紀

1月の行事予定

月	火	水	木	金	土	日	備考
1	2	3	4	5	6	7	冬季帰宅訓練終了
	☆ 初顔合わせ						
8	9	10	11	12	13	14	
7㊦ 成人式	賀文さんの誕生日(29)		㊦ 5班㊦				
15	16	17	18	19	20	21	
光紀さんの誕生日(29)		㊦ 6班㊦	㊦ 4班㊦		㊦ 1班㊦	㊦ 保護者会	
22	23	24	25	26	27	28	
㊦ 3班㊦		㊦ 2班㊦		㊦ 誕生会	㊦ たんぼぼ編集日	一章さんの誕生日(32)	
29	30	31	㊦ 賀文さん・光紀さん・一章さん・秘さん誕生日おめでとう! ㊦ 冬季帰宅訓練12/23~1/7まで ☆ 2日(火)初顔合わせ 7㊦ 8日(月)成人式 ㊦ 20日(土)保護者会 ㊦ 25日(木)誕生会 ㊦ 26日(金)たんぼぼ編集日				



ボランティア通信

寒さ厳しくこたつから出るのがおっくうな季節となりましたね。皆様がいかがお過ごしでしょうか。

先日行われた餅つき大会では、多数のボランティアの皆様のご協力がありありがとうございました。おかげさまで、楽しくおいしいう餅つき大会となりました。

今年も多くのお客様のご協力がありました。こちらが無理なお願いにも快く協力していただき、感謝の一年でした。来年もどうぞよろしくお願い致します。



ポランティアありがとうございます
☆餅つき大会
☆生け花

- 高橋 一精・佐藤 和也
- 山下 達郎・広瀬 佳子
- 園田真希子・麻生 扶美
- 森下 愛・田代 知美
- 今村 裕子・川上 美美
- 梅田 知佳・磯部 武志
- 熊迫 直子・宮崎 美貴
- 山田 淳子・西村 美香

※敬称略

編集後記

九カ月前……。それは私がかんぼぼ編集室の門を初めてくぐった記念すべき日です。この門さえくぐらなければ体験することのなかった、題して「たんぼぼ編集室シリリン事件簿」を皆さんにお話ししましょう。

ファイル1. 夏の訪れを感じさせてくれる今年の6月、今回の事件は起こった。編集員のEさんは人柄も良く、周囲からの信頼も厚かった。しかしそんなEさんが人生最大ともいえる汚点を残す結果となった。それは：誰ひとりとして逆らうことのできない編集長の案をいとも簡単に却下してしまっただのである。

ファイル2. 秋風が心地よい今年の11月、編集員のIさん(仮名洋子さん)は編集員の食事を買いにコンビニへ車を走らせた。皆から慕われているI編集員もこの日最大の失敗を犯してしまった。それは：あの編集長の御飯を店に置き忘れてしまったのである。

来年は誰が編集長のお怒りに触れることやら。ふっふっふっ井手

